

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2022年7月21日(木)15:30~17:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

『世界はさわらないとわからない —— 「ユニバーサル・ミュージアム」とは何か』

(広瀬浩二郎 著/平凡社)



— 広瀬 浩二郎 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 特別展「Homō loquēns 「しゃべるヒト」～ことばの不思議を科学する～」

[詳しくはこちら](#)

身近にありすぎてほとんど振り返ることのない「コトバ」をテーマに、言語学のみならず、文化人類学、工学系、教育系、脳科学、認知心理学等の50名を超える国内外の研究者が協力して、その不思議をおみせします！

さらに展示の一部として、映像作家の山城大督がことばをイメージした作品を公開！

会 期：2022年9月1日(木)～11月23日(水・祝)

会 場：国立民族学博物館 特別展示館

観覧料：一般 880円(600円)、
大学生 450円(250円)、高校生以下 無料

※()は20名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます

模型画像提供：荒井隆行



— 菊澤 律子 (人類基礎理論研究部 教授) —

5. 企画展「海のくらしアート展——モノからみる東南アジアとオセアニア」

詳しくはこちら

東南アジアやオセアニアの島や沿岸部に暮らしてきた人びとの漁具や船具、儀礼具や装飾品にみられる海との関わりを、そのアート（美術）性にも注目しつつ紹介します。



会 期：2022年9月8日（木）～12月13日（火）

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場

観覧料：一般 580 円（490 円）、

大学生 250 円（200 円）、高校生以下 無料

※（ ）は 20 名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

画像：海の貝が象嵌されたニューギニアの舞踏用面

（2022年小野撮影・標本番号 H164885）

— 小野 林太郎（学術資源研究開発センター 准教授） —

6. 展示ツアー

コレクション展示「現代中国を、カワウと生きる — 鸕飼漁師たちの技」

詳しくはこちら

現在開催中のコレクション展の見どころを展示場にて解説します。（Zoomでのライブ配信も予定）

会 期：2022年6月30日（木）～8月2日（火）

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場の一部

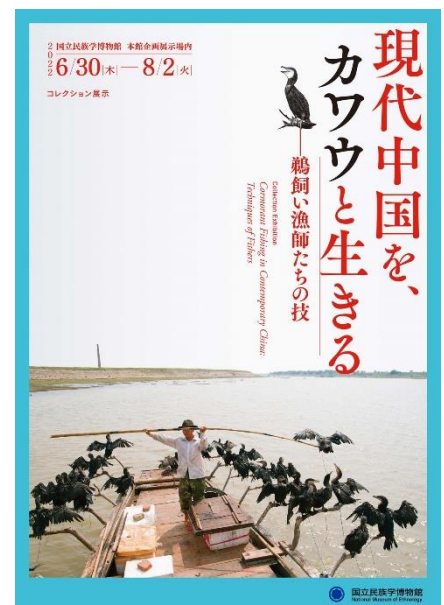
観覧料：一般 580 円（490 円）、

大学生 250 円（200 円）、高校生以下 無料

※（ ）は 20 名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



— 卯田 宗平（人類文明誌研究部 准教授） —

※その他の配布資料 刊行物報告書(資料6)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp